

平成28年度 第1回新居浜市政策懇談会議事録

○日 時 平成28年5月31日（火）19:00～19:40

○場 所 消防庁舎4階 消防コミュニティ防災センター

○委員の出欠 出席32名（代理出席4名含）、欠席8名

○会議次第

1. 開会

2. 議事

(1) 市長あいさつ

(2) 平成27年度政策懇談会活動及びワーキンググループ提言の反映について

(3) 平成28年度の活動内容について

- ・平成25年度、26年度提言事業の成果検証について
- ・分科会の開催について

(4) 平成28年度政策懇談会のスケジュールについて

(5) その他

3. 閉会

1. 開会

事務局： 定刻がまいりましたので、ただ今から「平成28年度 第1回 新居浜市政策懇談会」を開催いたします。

本日は委員の皆様方にはご多忙にもかかわらず、多数のご出席をいただきまして、ありがとうございます。

開会に先立ちまして、本日の委員の欠席及び委員の交代についてご報告いたします。

本日欠席されております委員は、新居浜市保育協議会 合田委員さん、新居浜市歯科医師会 小溪委員さん、新居浜機械産業協同組合 曾我部委員さん、新居浜市漁業振興対策協議会 中原委員さん、新居浜市福祉施設協議会 藤田委員さん、愛媛県建築士会新居浜支部 柚山委員さんにつきましては、所用のため欠席とのご連絡を受けております。ご了承をお願いいたします。

また、新居浜地区労働者福祉協議会 伊藤委員さんの代理で清家様、新居浜市社会福祉協議会 鈴木委員さんの代理で神野様、新居浜市観光協会 畑田委員さんの代理で吉本様、新居浜建設業協同組合 米谷委員さんの代理で白石様

にご出席いただいております。

次に、各団体における異動等に伴いまして、5名の委員さんが交代されておりますので、ご報告いたします。

まず、新居浜青年会議所 越智委員さんの後任といたしまして篠原委員さん、新居浜市PTA連合会 永易委員さんの後任といたしまして藤田委員さん、新居浜市消防団 高橋委員さんの後任といたしまして堀田委員さん、新居浜市高等学校校長会 日野委員さんの後任といたしまして宮部委員さん、新居浜市小学校校長会 一色委員さんの後任といたしまして森田委員さんが、それぞれ委員にご就任いただいておりますので、今後ともお力添えをいただきますようお願いいたします。

なお、オブザーバーとしてご参画いただいております、東淵先生につきましては、本日、学校用務のため、ご欠席となっております。

それでは、これより会議を開会いたしますが、会議進行につきましては、小野会長にお願いしたいと思います。

小野会長： 皆さん、こんばんは。開会に先立ちまして、一言ご挨拶申し上げます。

本懇談会は、平成25年6月に設置され、今年度で4年目を迎えることとなりました。これまで、委員の皆様には、「コミュニティの再生」、「経済の再生」、「健康都市づくり」、「教育の向上」の4つの課題に対し、各分野から貴重なご意見をいただいております。また、昨年度につきましては、これら4つの課題に加え、新居浜市第五次長期総合計画の中間見直し、新居浜市総合戦略の策定につきましても、熱心にご協議いただき、石川市長に本懇談会から提言書を提出することができました。

委員の皆様には、この場をお借りしまして、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

なお、昨年度提言いたしました施策案のうち、「コミュニティ再生」で1事業、「経済再生」で6事業、「健康都市づくり」で10事業、そして「教育力の向上」で12事業が、具体的な事業として、平成28年度当初予算に計上されました。

行政の皆様には「笑顔輝く新居浜市」実現のため、これらの事業について、石川市長を中心に、堅実に取り組んでいただき、市民のために活かされることを期待しております。

今年度は、平成25年度に本懇談会から提言し、翌、平成26年度に予算化された事業が3年目を迎えることとなりました。委員の皆様には、これまで自らが提言し具体化された事業の進捗状況等にも注視していただき、どのような成果を上げているのか、よりよい事業とするにはどのような

にすればよいかなど、忌憚なくご意見していただきたいと存じます。

以上、簡単ではございますが、開会にあたりましての私からのあいさつといたします。本日は、よろしくお願いいたします。

それでは、お手元の会次第に沿って会議を進めたいと存じます。

まず、開会にあたりまして、石川市長からご挨拶をいただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

市長： 開会にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

委員の皆様方におかれましては、ご多忙のところ、政策懇談会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

本懇談会につきましては、平成25年の設置以来、委員の皆様方には、懇談会、ワーキンググループを通じて精力的なご活動を賜り、「経済の再生」、「コミュニティの再生」、「健康都市づくり」、「教育力の向上」という4つの課題に対しましてご提言をいただきましたことに、改めまして厚くお礼申し上げます。

いただきましたご提言につきましては、行政といたしましても、予算化し、具体化してきたところでございますが、平成25年度にご提言いただき、平成26年度に事業化したものにつきましては、本年度、一つの区切りでございます、3年目を迎えることとなりました。

さて、私は、平成28年度を、「再生から創生への躍進の年」と位置付けております。昨年度、皆様方にもご協議いただきまして、第五次新居浜市長期総合計画の中間見直し、新居浜市総合戦略の策定を行いました。本年度は、これらの計画・戦略に基づき、地域再生への取り組みを、地方創生へと深化させ、「住みたい、住み続けたい あかがねのまち」の実現を目指してまいりたいと考えております。

委員の皆様方には、本懇談会からの提言により生み出されました事業が、より良い、より効果的な事業となりますよう、今年度も様々な角度からのご意見、ご提言をいただき、実りある会となりますことを、期待しております。そして、本市が目指します地方創生の実現に向けまして、ご尽力賜りたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

2. 議事

小野会長： 石川市長、ありがとうございました。

それでは、次に、「平成27年度政策懇談会活動及びワーキンググループ提言の反映について」でございます。石川市長から説明をお願いします。

市 長： （資料により説明）

小野会長： ありがとうございました。

ただいま、市長から平成27年度政策懇談会の活動及びワーキンググループ提言に対する反映についてご説明いただきましたが、なにかご質問はございませんか。

（質疑なし）

小野会長： 質問がないようですので、次に「平成28年度の活動内容」について、原企画部長から説明をお願いします。

部 長： （資料により説明）

小野会長： ありがとうございました。

ただいま、原部長から平成28年度の活動内容について、説明をしていただきましたが、なにかご質問はございませんか。

（質疑なし）

小野会長： 質問がないようですので、平成28年度は、平成25年度、26年度の提言事業につきまして、分科会に分かれて、成果検証を行いたいと思います。

次に、「平成28年度政策懇談会のスケジュールについて」でございます。引き続き原企画部長からご説明をいただきたいと思います。よろしく申し上げます。

部 長： （資料により説明）

小野会長： ありがとうございました。

なにかご質問、ご意見はございませんか。

(質疑なし)

小野会長： ないようですので、それでは、本懇談会の今後の活動のほか、どんなことでも結構ですので、ご意見、ご質問等がございましたらお伺いしたいと存じます。何かございませんか。

小野会長： ないようでしたら、本日懇談会にご出席いただきましたオブザーバーの皆様からもご意見、ご助言をいただければと存じます。
どなたからでも結構ですので、お願いいたします。

釜野講師： 昨年度に引き続き、この懇談会に関わらせていただくようになったんですけども、様々なテーマでワーキンググループが作られるんですけども、それぞれの部署の横の連携、例えば、子どもの支援というのは将来的に就労だとか、若者の定着ということにどう繋いでいくのか、また、何十年か後の健康都市づくりにどう繋がっていくかというような、一体的なイメージが見えるということが大事なのではないかと思います。

個別に見てみますと、合同企業説明会等の開催につきましては、大学に進学している出身者の方への就職の呼びかけであります。私も松山市内の看護師の養成であったり、医療事務の養成をする学校の授業に関わっているんですが、新居浜出身の方に話を聞いていると、就職は地元です。その後はどうと聞くと、結婚とかになるとどこに行くかはわからないというのが正直なところあるようでして、就職後、結婚であったり子育てという環境について、新居浜ではどういうメリットがあるか、この会議でもいろいろいい提案、取組が出ておりますので、この就職活動、大学生もそうですし、専門学校で資格を取って地元に戻ってくる人たちに、こういう支援があるという、わかりやすい冊子であったり、一枚でもなにか目に留まるようなものがあればいいのかなと思いました。

また、健康長寿に関しましては、シルバーボランティアのポイント制ですが、本学にも聴講生として80代の男性の方が毎年、福祉系の科目の単位取得を希望しているんですけども、こういったポイント制度を受けるんだと誇らしそうに言っておられて、そして、図書券もらったら小学校に寄附するつもりなんだと、自分がなにか関わってやったということにすごく誇らしそうに話をされていたので、これからの視点というのも、通いの場を作るだとか、社会参加の場を作るというのと同時に、シルバーの方たちに力を借りるというようなスタンスで見れば、秘めた力も持っている方もたくさんいらっしゃるし、高齢者の方の通いの場というのは、「きょういく」と「きよ

うよう」の場というふうに言われております。「きょういく」というのは「今日行く」場所を作ることで、「きょうよう」というのは「今日、用がある」ことで、なにか役割を持って、行く場でなにか用をなすという、そのような環境を含めて、今後考えていければと思います。

また、「子育てサービス利用者支援事業」というのがございますが、転勤族の方であったりしますと、なかなかコミュニティになじめない。東広島の子育てサロンなどでは、そういった方を対象とした相談窓口、特に海外から来られたお母さん方であったり、他県から来られたお母さん方が集まって情報共有したり、独特の悩みがありますので、そういう場も設けたりしておりますので、小さい日常の課題というものを吸い上げられるような形で進められていただいて、私もそのような形がかかわっていければと考えております。

佐藤准教授： 私も昨年度に引き続きこの懇談会のオブザーバーを務めさせていただきます。先程来のお話で、平成26年度に住民の方々、ワーキンググループから出された案が予算化されて、それが今年度3年目を迎えるということで、一つの節目であるという話がありました。そもそも、市民の方がワーキンググループを作って、それを市に提言して、それが予算化されて実行、実現するというそのものだけでも、大変有意義で素晴らしいことだと思っております。それで、26年度に予算化されたものは3年目になるということで、先程のお話ですと、昨年度の提言で予算化されたものが2億円余りになるということでした。少ない金額ではない予算が皆さんのご意見から予算化されたということであると思います。それで、3年目の節目ということで、今年は評価の年になるということでありました。ここが重要なところであると思っております。プランを作るということは、大変な議論を重ねて作られたもので、それに予算を付けた。それがどういうふうに有効に働いたのかということと、どう評価するかということが今年の大きな課題であると思います。そこで、評価がしやすいプランと、評価がしにくいプランがあると思います。定量的に数字で評価ができるものもあるかもしれません。しかし、数字で評価するのにそぐわないプランもあるかもしれません。また、数字で評価できるけれども、数字だけでいいのかどうかというプランがあるのではないかと思います。例えば、26年度の資料を拝見しますと、高齢者の方の健康長寿地域拠点づくり事業というのがありますが、通いの場を作るということが提言として出されて、それに対しての予算が付けられました。それで、通いの場を作ったかどうかということと言うと、作ったのかもしれない。それが数字で何か所作りましたということと評価できるかもしれませんが、その通いの場がどのように活

かされて、どのように健康長寿づくりに意味があったのかということはどう評価するか。その評価軸を作る、評価の仕方を考える、なにをもって功を奏したというふうに評価するかという評価基準であったり、評価項目、評価方法ということを考えるということも非常に重要ではないかなというふうに感じております。ですから、是非今年度の議論も大変重要なことであると思いますので、しっかり議論して評価というところに結び付けていただけたらと思います。

もう一つは、昨年度提言されたことが今年予算化されているわけですが、同様に、この予算化したものをこの先どう評価していくのかということも含めて、実現に向けて予算を使っていただきたいなと思います。先程と同様の例で申し上げますと、場所を作りましょうという時に、どうやったらその場所がよく使われるような場所づくりにつながるのか、建物を作るためのお金は出したけれども、それが本当に使われるような場所づくりになるのかどうかということ、どうやって担保するのかを含めて予算を使っていただきたいなと思います。これは一つの例ですが、それぞれ提言、プランをどういうふうに予算を使っていくか、その時に、どういうふうな効果を出すために、どういうやり方をしていくのがいいのかということも、27年度の提言についても議論をしていただければと思います。

小野会長： 貴重な御意見、ありがとうございました。

いただきました御意見につきましては、今後の活動に活かしてまいりたいと思います。

それでは、最後に事務局から次回の懇談会について説明をお願いします。

事務局： 次回、2回目の政策懇談会は9月頃に予定いたしております。2回目の政策懇談会までの期間に、2回程度分科会を開催し、提言事業の成果検証を行っていただければと存じます。第2回政策懇談会で、その成果検証をもとに、とりまとめを行いたいと存じます。

なお、第1回目の分科会におきまして、分科会の会長を選出していただきますが、分科会の会長につきましては、第2回の懇談会におきまして、各分科会からの報告等行っていただく必要がございますので、本会の会長、副会長様以外の方で、お願いしたいと考えております。分科会の日程等につきましては、各担当部局から、第2回政策懇談会につきましては、事務局から、改めまして、ご案内させていただきますので、よろしくお願いたします。

小野会長： ただいまの事務局からの説明について、質問等ございましたらお願いいた

します。

(質疑なし)

3. 閉会

小野会長： 以上を持ちまして、本日の懇談会を終了いたします。委員、オブザーバーの皆様には長時間にわたる熱心なご審議をいただきまして、ありがとうございました。